

# 2019年度地域における女性医師支援懇談会次第

令和2年2月13日（木）18時30分

高松市医師会館（2階）大会議室

司会進行：西岡副会長

1. 開会あいさつ 高松市医師会 会長 神内 仁 先生

2. テーマ

少子化対策について

～女性医師のワークライフバランスにおいて、必要な社会資源とは～

①高松市の少子化の現状について

女性医師連絡協議会委員 片山博子 先生

②病児保育について

女性医師連絡協議会副会長 西岡敦子 先生

③日本医師会女性医師バンクについて

女性医師連絡協議会副会長 西岡敦子 先生

3. 意見交換

①参加者からの意見、要望等

②今後の課題、予定

4. 閉会あいさつ 女性医師連絡協議会 会長 大内通江 先生

日本医師会女性医師地区懇談会

令和2年2月13日

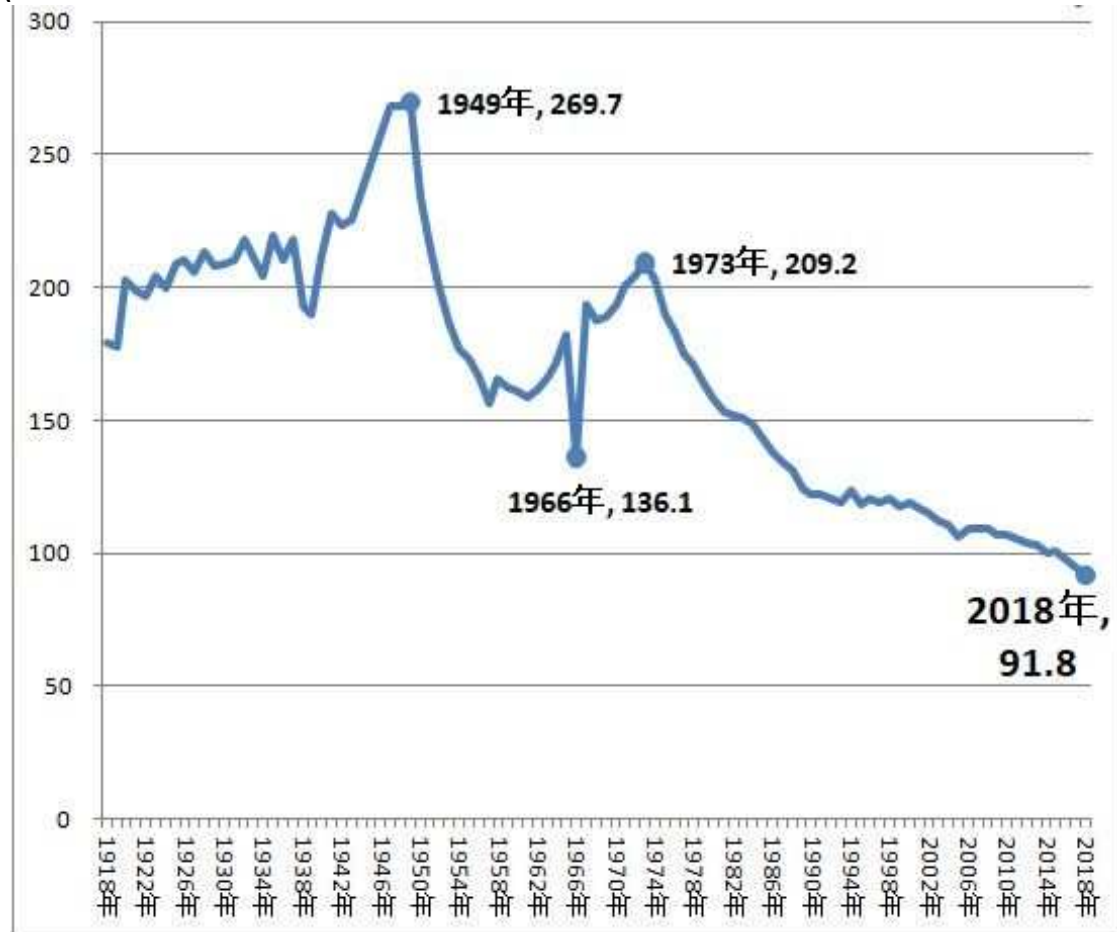
～女性医師のワークバランスにおいて、必要な社会資源とは～

## 高松市の少子化の現状について

高松市医師会理事 片山博子

# 出生数推移

(万人)



ガベージニュースよりの引用 (厚生労働省人口動態統計)

# 合計特殊出生率 (2001年以降)



ガベージニュースよりの引用 (厚生労働省人口動態統計)

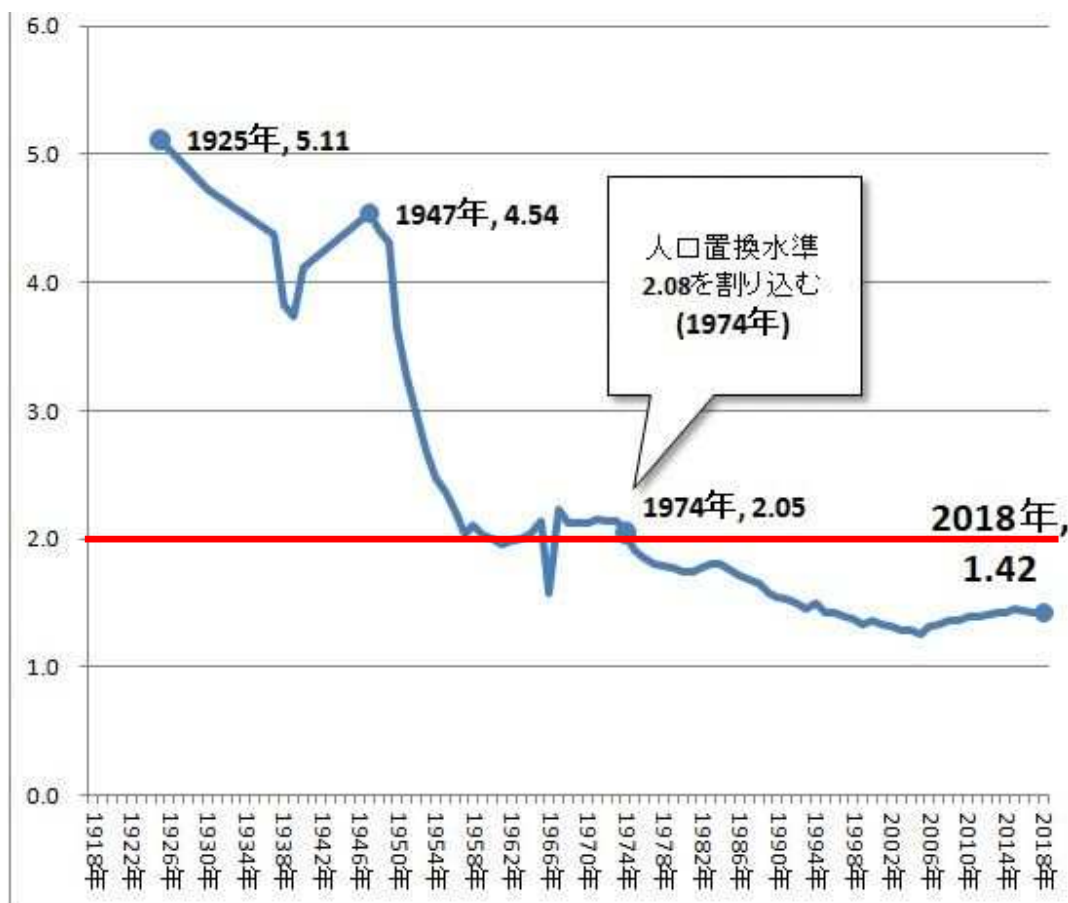
## 合計特殊出生率とは

合計特殊出生率は、出生率計算の際の分母の人口数を、出産可能年齢(15~49歳)の女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯、何人の子供を産むのかを推計したものです。

## 合計特殊出生率の計算方法

年齢	女性の人口 A	出生数 B	出生率 C=B/A
15	39,344	5	0.000127
16	40,106	36	0.000898
17	40,676	87	0.002139
18	41,811	17	0.000407
19	46,389	435	0.009377
(省略)			
46	51,558	9	0.000175
47	53,871	2	0.000037
48	59,589	2	0.000034
49	67,541	0	0
計	1,726,544	65,507	1.240455

# 合計特殊出生率 (100年間)



## 合計特殊出生率が、**2.07を下回る**とは？

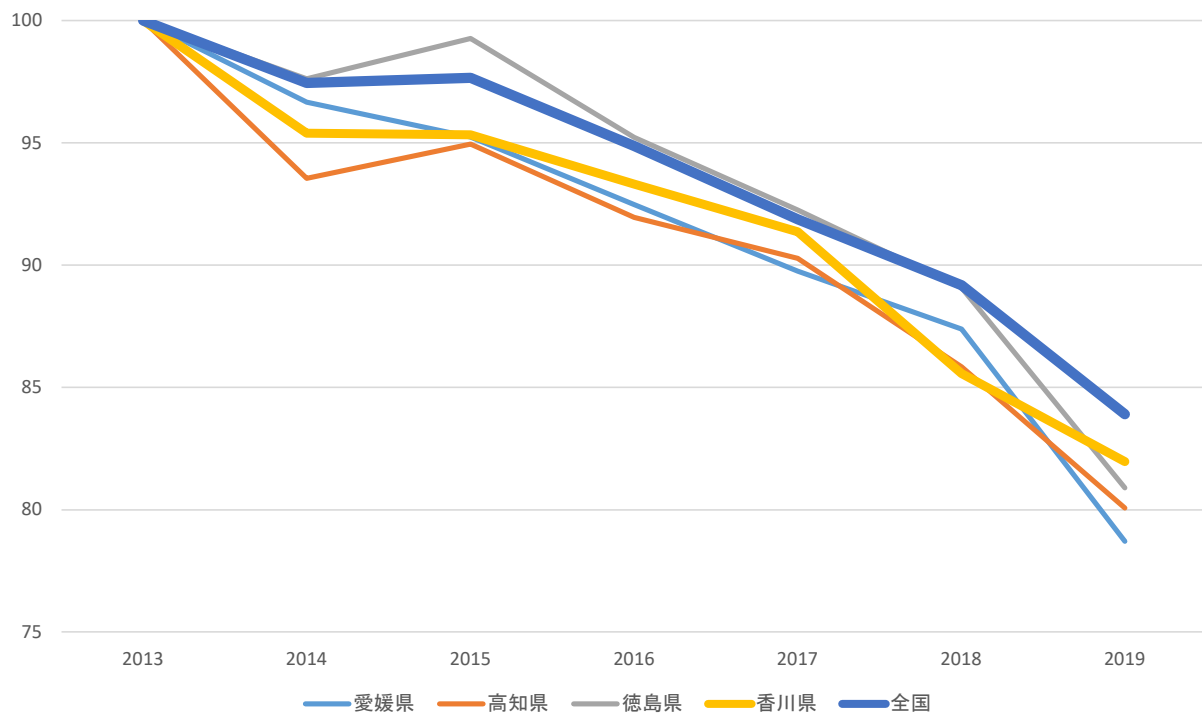
- お産をする女性の数が減り続ける
- この30年間の合計特殊出生率は**1.3 - 1.5**
- つまり、これから少なくとも30年程度は**母親の絶対数が減り続ける**ことがすでに決まっている
- つまり、分娩数が減り続けることがほぼ決まっている

ガベージニュースよりの引用 (厚生労働省人口動態統計)

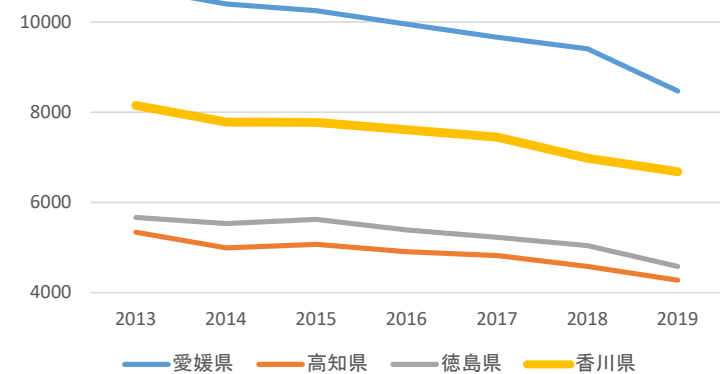
## 小括 1.

- 母親の数は向こう30年間は減り続ける。
- 母親の絶対数が減るのだから、出生数も減り続けることは、ほぼ確実である。

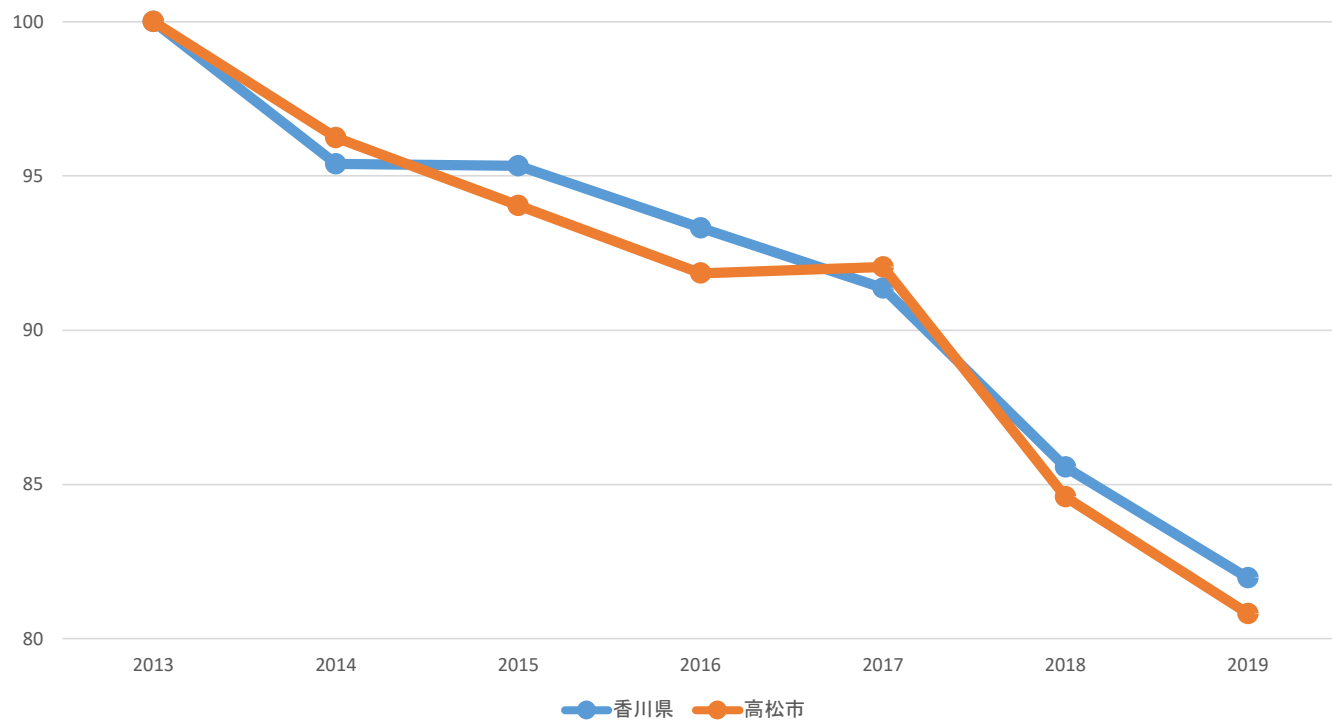
2013年以降、出生数の変化率(全国および四国4県)



2013年以降の出生数(四国4県)

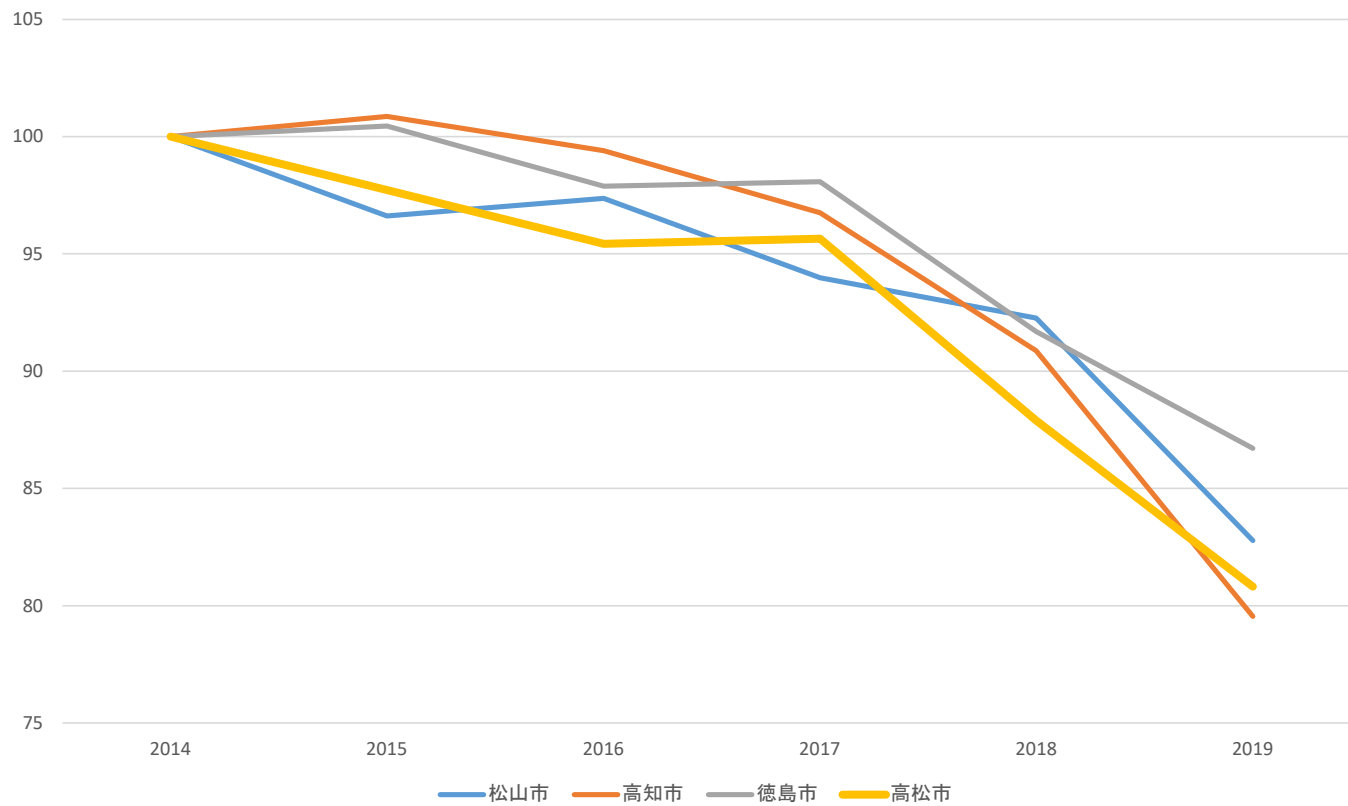


2013年以降、出生数の変化率(高松市)

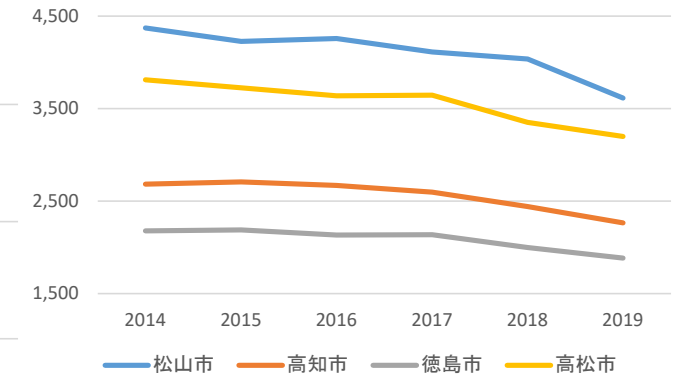




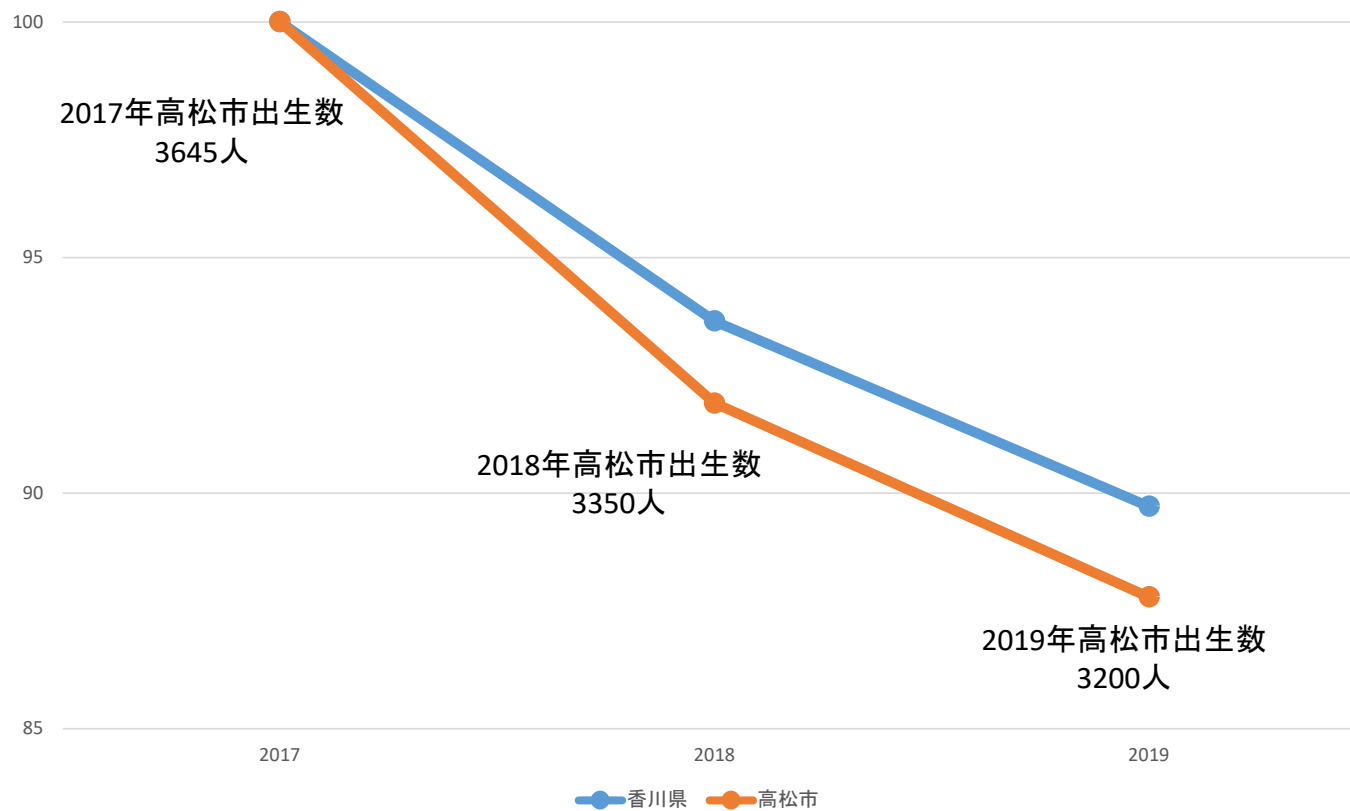
四国 県庁所在地の2014年よりの出生数変化率の推移



四国 県庁所在地の2014年よりの出生数



## 2017年より高松市出生数の減少率



## 小括 2.

- 四国4県の出生数の減少率は全国平均より高い。
- 高松市は、この2年間で出生数が約450人減少している。

# 晩婚化と少子化

	昭和30年	昭和60年	平成16年	平成29年
平均初婚年齢(歳)	23.8	24.5	27.8	29.4
平均初産年齢(歳)	25.1	25.8	28.9	30.7
合計特殊出生率	2.40	1.76	1.29	1.43

# 少子化は社会の大きな問題

## 晩婚化は女性と社会の大きな問題

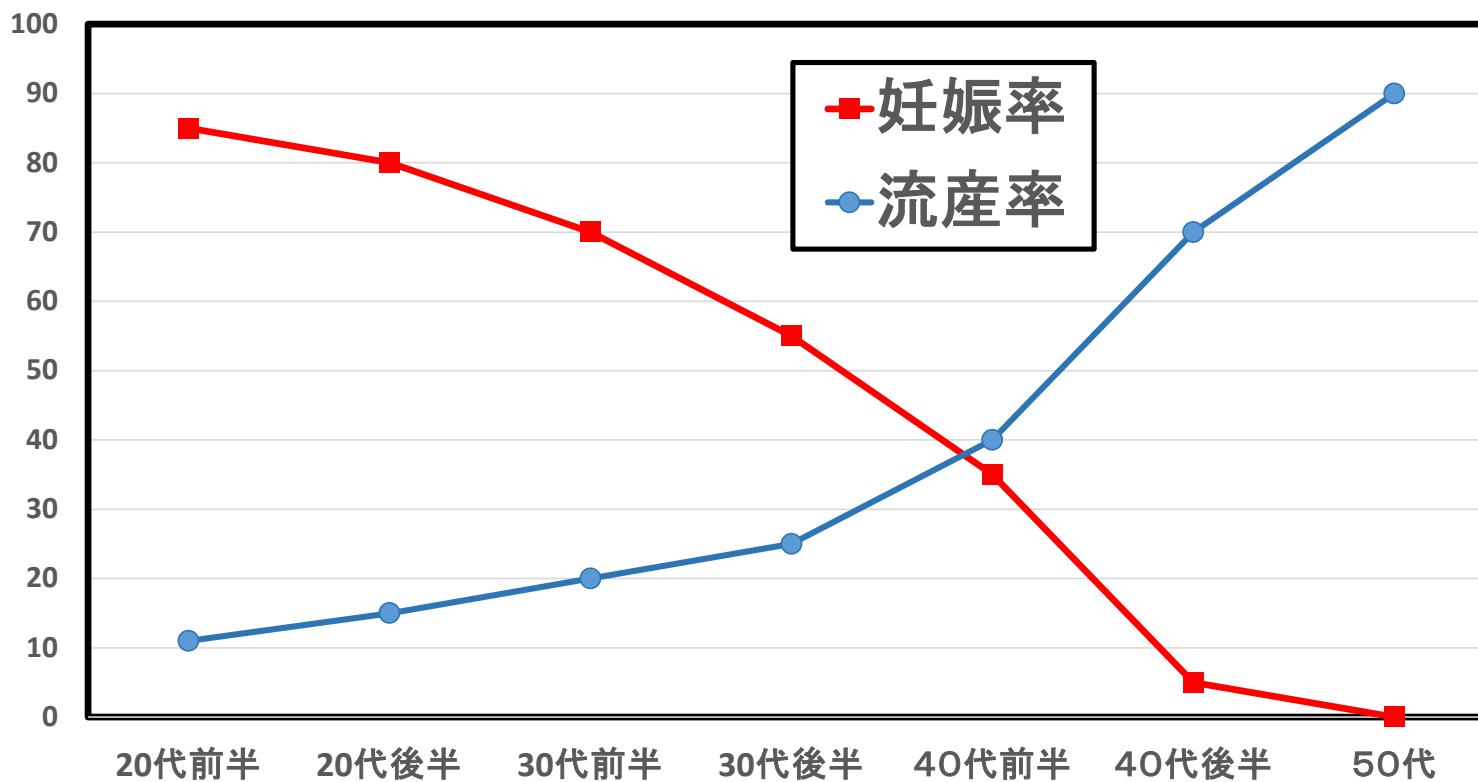
- **少子化**を、個々人の問題として捉えてみると？
  - 社会として捉えると大きな問題
  - 個人として捉えると、個人の勝手？
- **晩婚化**を、個々人の問題として捉えてみると？
  - 個人として捉えると大きな問題



不妊・高齢出産の問題あり  
医療費の増加

# 女性の年齢が、妊娠・流産に及ぼす影響

日本産科婦人科学会2010年データをもとに厚生労働省政策評価室作成



妊娠率： 1年間に妊娠する確率  
流産率： 一回当たりの妊娠が流産する確率

# 女性の年齢が、染色体異常に及ぼす影響

Hook EB Obstet and Gynecol 58:282-5,1981より

母の年齢	ダウン症の子が生まれる頻度		何らかの染色体異常をもつ子が生まれる頻度	
	出生千対		出生千対	
20	1/1667	0.6	1/526	1.9
25	1/1250	0.8	1/476	2.1
30	1/952	1.1	1/384	2.6
31	1/909	1.1	1/384	2.6
32	1/769	1.3	1/323	3.1
33	1/625	1.6	1/286	3.5
34	1/500	2.0	1/238	4.2
35	1/385	2.6	1/192	5.2
36	1/294	3.4	1/156	6.4
37	1/227	4.4	1/127	7.9
38	1/175	5.7	1/102	9.8
39	1/137	7.3	1/83	12.0
40	1/106	9.4	1/66	15.2
41	1/82	12.2	1/53	18.9
42	1/64	15.6	1/42	23.8
43	1/50	20.0	1/33	30.3
44	1/38	26.3	1/26	38.5
45	1/30	33.3	1/21	47.6
46	1/23	43.5	1/16	62.5
47	1/18	55.6	1/13	76.9
48	1/14	71.4	1/10	100.0
49	1/11	90.9	1/8	125.0

## 小括 3.

- 少子化の大きな原因は、晩婚化及び未婚率の増加。
- 晩婚は、不妊の大きな原因である。
- 晩婚は、妊娠・分娩に大きなリスク。



# まとめ

- 日本の少子化は、社会基盤を揺るがす大きな問題である。
- 少子化の大きな原因と考えられる晩婚化。その結果としての初産年齢の上昇が、個々人の女性に大きな問題を与えている。
- 晩婚のリスクを知った上でのライフサイクル設計を！
  - 不妊に結びつきやすい
  - 流産・死産の頻度が上昇する
- 晩婚化を防ぐためには、何ができるか？
  - 若い人の婚姻率を上げるには？